

2年 学年通信

第7号



令和7年2月27日

麻里布中学校2年部

■立志式がありました

2月14日（金）、麻里布中学校学校運営協議会主催で、今年度の立志式を開催していただきました。岩国市民憲章の唱和から始まる「式」で、生徒たちも緊張感をもって臨みました。

生徒たちは、将来自分の就きたい職業やなりたい大人像などについて漢字一字で表したものを掲げ、短いながらも全員が1人ずつ決意を述べました。

〔生徒の感想より〕

- ・1人1人の夢や目標があってすごいなと思った。なかなか言いにくいことなども、人前でしっかり発表していた人もいてすごいと思った。
- ・将来の夢を考えることはあっても、決意を言葉にすることはなかったので、良い機会になった。
- ・同じ漢字の人がいても、決意は人それぞれ違って聞いていて楽しかった。
- ・すごく緊張したけれど、こうしてたくさんの人の前で言ったことで、頑張らないといけないと思えた。
- ・人の意見でも自分のものにできそうな言葉がいくつもあったから参考にしていきたい。

生徒の発表の後には、講演を聴きました。講師は、麻里布中学校の卒業生でもある、城西大学野球部監督の村上文敏様で、30分という短い時間の中で、多くのことをお話しくださいました。



〔生徒の感想より〕

- ・大人になっても子供心は忘れずに生きたいと思った。また、親に感謝しようと改めて思った。
- ・「知識は武器にはならないが、経験は武器になる」という言葉がいちばん印象に残った。
- ・子供と大人の両立をできるようになりたいと思った。
- ・大人になって失敗したら恥ずかしい、だからこそ子供のうちにたくさんの失敗を重ねていって、そうしたらいずれ立派な大人になれると思った。
- ・自分でやりたい道を進み、自分の成長を支えてくれる人への感謝を忘れないようにする。
- ・自分がやりたいことだけを貫きとおすのではなくて、やりたくないこともやりつつ成長していけたらなと思った。

最後は、生徒全員での合唱を行いました。見に来ていた教育委員会の先生に「この2年生とは直接関わりのない自分が、この合唱を聴いて、目頭が熱くなり、心が震えた」と言わしめるほどの、素晴らしい合唱を披露してくれました。緊張する中、伴奏者の松岡さん、指揮者の沖くんも大役を果たしてくれました。

当日は、用意したイスが早い段階で足りなくなるほど、多くの保護者の皆様に御来校いただき、ありがとうございました。生徒も教員も身の引き締まる思いがすると同時に、保護者の皆様のお子様へ向けられた愛情をひしひしと感じました。この度の立志式やお子様の将来のことについて、御家庭でも再度お話しいただき、これからも温かい見守りをさせていただきますようお願いいたします。